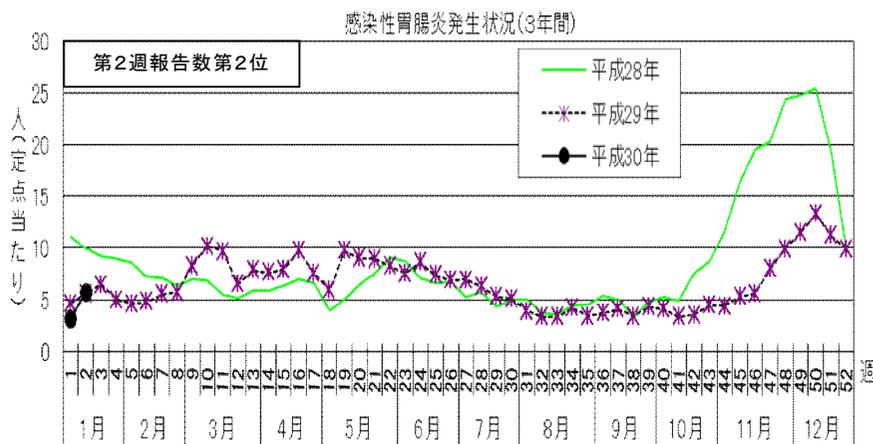
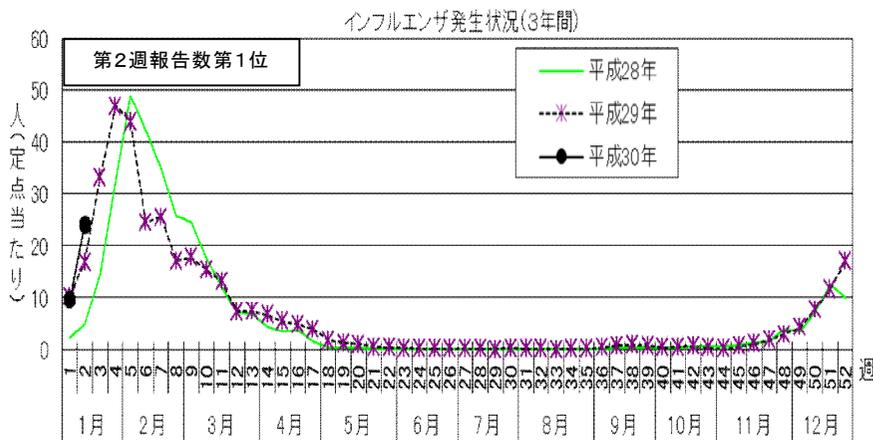


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年1月8日（月）～平成30年1月14日（日）〔平成30年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は24.07人と前週（9.62人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.76人と前週（3.19人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.44人と前週（2.00人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



知っていますか？～コリネバクテリウム・ウルセランス感染症～

コリネバクテリウム・ウルセランス感染症は、ジフテリア菌と同様にコリネバクテリウム属に分類されるコリネバクテリウム・ウルセランスという細菌によって引き起こされ、ジフテリアによく似た症状を示す感染症です。

国内においては、2001年から2017年11月末までに25例確認されており、2016年には国内初の患者死亡事例も発生しています。

コリネバクテリウム・ウルセランス感染症とは？

【主な症状】

感染初期は発熱、鼻汁等の風邪に似た症状で、その後、咽頭痛や咳が出始めます。重篤な場合には呼吸困難を呈し、死に至ることもあります。



【感染経路】

ウルセランス菌に感染した犬や猫からの感染が国内外で広く確認されています。
 ※人から人への感染事例は、国内では現在まで報告がなく、国外においても非常にまれです。

【治療方法】

抗菌薬が有効であるとされています。

コリネバクテリウム・ウルセランス感染症予防のためには？

◎動物と触れ合った後は手洗い等をお願いします。
 特に、風邪様の症状（くしゃみや鼻汁等）や皮膚病を呈している動物との接触は控えましょう。

◎ジフテリアトキソイドを含むワクチンが有効とされています。

- ・成人用ジフテリアトキソイド
- ・DPT-IPV（ジフテリア、百日咳、破傷風、不活化ポリオ）4種混合ワクチン
- ・DPT3種混合ワクチン
- ・DT2種混合ワクチン



ペットが感染したかもしれないと思った時は？

飼育している犬や猫に、風邪様症状や皮膚炎等がみられる時は、早めに獣医師の診察を受けましょう。

